※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会の中で必要とされるパソコン（特にExcel）を用いた基本的な操作方法を習得させる。また、講義とともにグループワークを通して情報モラルや情報セキュリティに関する基本的な知識を習得させる。

2　学習の到達目標

知識・技能・・・情報活用の実践力情報機器を用いた演習を行う中で、基本的な操作方法を理解し、社会の中で最低限必要とされる技術を身につける。
思考・判断・表現・・・複数の情報から問題解決する力を養い、自ら考える力を身につける。
主体的に学習に取り組む態度・・・情報社会において必要なことを理解し、参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報科の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。プログラミングやアルゴリズムを理解し、実践を通して論理的な思考を育成する。	様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を養う。試行錯誤を重ね、解決に向けたプロセスを明確にし、実行していく力を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・Excel（関数） ・表計算ソフトを利用して，情報の整理・分析を行う	a: Excelの関数が活用できる。(vlookup,sumif,countif,averageif,index)[知] b: 関数を用いて表の整理、分析ができる[思] c: Excelの関数について理解し、主体的に学習に取り組む[主]	提出物 実技テスト	提出物 実技テスト	提出物 出席状況 授業の取り組み
	・インターネットの仕組み ・インターネットサービスの概要（WWW、電子メール、ニュース、プロバイダなど）講義を通して理解させる。	a: サーバの仕組みやFFFTPの仕組みを理解できる[知] b: メールの仕組みを理解し、ビジネスメールを送ることができる[思] c: インターネットの仕組みを理解し、主体的に学習に取り組む。[主]	提出物 実技テスト	提出物 実技テスト	提出物 出席状況 授業の取り組み
二学期	・ホームページ(HTML) ・ホームページの基本的な仕組み、演習を通して理解させ、ホームページの作成方法を習得させる	a: HTML の仕組みを理解し、タグの意味や使い方を理解する[知] b: 自分のホームページを作成する[思] c:ホームページの仕組みを理解し、主体的に学習に取り組む。[主]	提出物 実技テスト	提出物 実技テスト	提出物 出席状況 授業の取り組み
	・情報リテラシー ・目的に応じて、必要な情報を使いこなすためにグループワークを通して、情報の取捨選択するための技術を理解させる	a:グループワークで必要なソフトや意見集約の方法を理解する[知] b: 目的に応じて使用するソフトを判断し必要な情報をまとめることができ、発表ができる[[思] c: 情報リテラシーを理解し、主体的に学習に取り組む。［主］	提出物 実技テスト	提出物 実技テスト	提出物 出席状況 授業の取り組み
三学期	・プログラミング演習（VBA） ・課題に応じて、命令を実装させることにより、物事を順序だてて考え、問題を解決する力を養う	a: VBA の仕組みを理解し、繰り返し処理や条件判断の処理を理解する。[知] b: 課題に応じたプログラムを VBA を用いて作成できる［思］ c: プログラミングの仕組みを理解し、主体的に学習に取り組む。［主］	提出物 実技テスト	提出物 実技テスト	提出物 出席状況 授業の取り組み